

総合的な学習の時間「災害から命を守る」
 災害から命を守るために何ができるだろう
 — みんなが安心・安全に過ごせる北小避難所プロジェクト —

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力, 主体性, 他者理解, 社会参画

◇ 日 時 令和3年10月7日(木) 5校時

◇ 学年・組 第5学年1組 計25名

単元について

◇単元観

本単元では、防災にかかわる調査・体験活動を通して避難所の問題点や工夫、そこで生活する人々の思いを知り、自分にできることを実践・発信しようとする態度を養うことをねらいとしている。

近年、東日本大震災や熊本地震、広島市での土砂災害や西日本豪雨など、大きな災害が続いている。そのような状況の中、「自分の身は自分で守る」ための場所として、各地に設置されている避難所について調べていく。行政での取組やそこで生活を余儀なくされている人々に必要なことや工夫などを知ること、安心・安全に避難することができる避難所について考えを深めていきたい。そして、自分達にもできることを考え、実際に、防災・災害時の緊急グッズを作ったり、地域のためにできることを考えたりする活動を通して、今後も防災や災害時に自分ができることを家庭や地域で実践しようと主体的に学習に取り組ませることができると考え、本単元を設定した。

◇児童観

本学級の児童は、3年前の豪雨被害を受けていることから、災害についての関心は高い。1学期には、自然災害や防災について知識を広げ、防災グッズを調べたり、ハザードマップを基に自分の避難行動について考えたりしたことで、自然災害が起こった時には、日頃からの準備と早めの避難行動が必要であることについて理解できた。

9月に行ったアンケートの結果は次のようになった。

項目	はい	いいえ
① 自分の家族の避難場所を知っていますか？	24	1
② 災害時に、避難したことがありますか？	3	22
③ 身のまわりに、避難したことがある人がいますか？	9	16
④ 避難したことがある人に、避難した時の話を聞いたことがありますか？	2	9

アンケートの結果から、実際に避難したことのある児童は3名と少なく、多くの児童が「家が安全な場所にある。」という理由から、避難経験がないという実態が分かった。また、避難経験者に、避難した時の話を聞いたことがあるという児童も2名と少なく、多くの児童が「避難所」について、具体的なイメージを持っていないということが考えられる。

◇指導観

指導に当たっては、単元の最初に、1学期に児童が立てた「避難所の生活について調べよう」というめあてについて学習することを確認し、避難所についての一人一人のイメージを出し合い、避難所についての調べていきたい課題を持たせる。その後、避難所運営ゲーム「HUG」を基にした「北小避難所シミュレーション」を行う。避難所について、具体的なイメージを持つことが難しいであろう児

童が、「シミュレーション」を通して、避難所生活の具体的なイメージを持ったり、様々な人が避難して行くことを疑似体験したりすることで、避難所の工夫点や、問題点などを自分なりに考えていけるようにしていく。

課題をもとに情報を収集する過程では、実際に体育館にどのような備蓄用品があるか調べたり、資料やニュース動画、インタビュー動画を調べたりしながら、避難所での生活についての問題点や工夫についてまとめ、避難所の実態について理解していく。

情報を整理・分析する過程では、避難所で自分達にできそうなことについて考え、実践していく。「すぐにできる」「時間がかかる」という時間について、「協力が必要」「自分でできる」という人についての座標軸に整理していくことで、理由を明確にして自分の考えを伝えることができる。自分達で考えたことが実現可能か実践してみることで、新たな課題や工夫が生まれ、児童の思考がより深まるようにしたい。

まとめの段階で、パフォーマンス課題「みんなが安心・安全に過ごせる北小避難所プロジェクト」を形にしていく。グループごとに学んだことを生かして、自分が避難所に必要だと思うものや場所の使い方について一つのマップにしていくことで、自分達にも改善できることがあることに気付かせていきたい。そして、今後人の命を守るために、避難所の重要性について多くの人に知らせていきたいという思いが持てるようにしていきたい。また、理科の「台風と気候の変化」の学習と合わせながら、災害から生命を守るために、自分たちにできることについて、より考えが深まるようにしていきたい。

単元目標

- 災害時の避難の仕方を考えたことを基盤にして、自然災害が起きたときに地域の人々と協力しあって避難生活を送ることができるようになるために、自分たちができることを考え、主体的・協働的に解決し、実行することができる。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○地域に起きた災害の歴史や、避難所での生活の実態やそこで活動している人々の工夫や努力を理解している。	○避難所での生活について収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりしながら分析し、自分達にもできることを考えている。 ○自分達にできそうなことを考え、実践し、よりよくするための新たな課題や工夫などを考えている。	○課題意識を持ち、探究活動に取り組み、自分とのかかわりの中で理解し、実生活・実社会の問題を解決していこうとしている。

育成しようとする資質・能力と本単元とのかかわり

適応力	○避難所の課題や工夫について調べたことを、関連付けながら、自分の考えを深め、自分にできることについて考え、伝える。 ○友達の話の話を注意深く聞き、それにつなげて自分の考えを話す。
探究力	○みんなが過ごしやすい避難所になるために、自分でできることを考え、実際に試してみることで、次への課題発見につなげられるようにする。
向上心	○避難所で、多くの人達と関わることを実感し、お互いに気持ちよく過ごすために、自分の行動の仕方を考え、日々の生活にも生かそうとする

本時の学習（10時間目／全15時間）

◇本時の目標

○避難所での生活について調べた情報を基に、座標軸を使って自分たちにできそうなことを考えることができる。

◇学習の流れ

学習活動	・指導上の留意点, ◇予想される児童の反応	評価規準（評価方法）
1 学習計画を確認する。	・今日の学習が単元のどこに位置するかを知らせ、見通しを持たせる。	
2 めあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 避難所で過ごす人たちが安心・安全に生活するために、自分達にできそうなことを考え、グループで一つ実せんしたいことを決めよう。 </div>		
3 避難所の生活について調べたことを想起する。	・前時に考えた問題点や工夫について、交流する。 ◇避難所では、みんなが不安な気持ちを抱えながら避難している。 ◇小さな子ども、思い切り遊ぶことができず、ストレスがたまる。 ◇必要な物資（食べ物・食器など）が行き渡らず、大人も子どももイライラしている。 ◇トイレの数が限られているので、手作りの簡易トイレを作る工夫があった。	
4 みんなが安心・安全に過ごせるために、自分達にできることを考える。	・自分にできそうことは何か考え、タブレットを使い、付箋に整理する。 ◇紙食器を作り、配る。 ◇小さい子と遊んであげる。 ◇食事を作る手伝いをする。	○調べた情報を基に、自分にできそうなことを考え、座標軸に整理している。（付箋の内容）
5 個人で考えたことを、グループで整理し、実践したいことを一つ決める。	・グループで出した意見を、座標軸に整理し、実践したいことを一つ決める。 ◇紙食器は、材料さえあればすぐに作れそうだよ。 ◇食事を作るのは、大人の協力があるね。運ぶ手伝いなら一人でもできるよ。	
6 各グループで出した意見を交流する。	・グループで出した意見を電子黒板に映しながら、クラス全体で共有する。 ◇ぼくたちのグループは、避難所に食器が足りない時のことを考えて、簡単にできる紙食器づくりを実践することにしました。	
7 振り返りをし、次時の活動の見通しを持つ。	・本時の振り返りをする。 ◇自分達にもできそうなことがたくさんあることに気付いた。紙食器を作るために、どんな材料が必要か調べたい。	

パフォーマンス課題



みんなが安心・安全に過ごせる北小避難所プロジェクト

これまでに学習してきたことを生かして、安心・安全な避難所にするために、自分達ができるようなことを、北小校内地図にまとめよう！

どんな物が必要か？小さい子やお年寄りが来られた時に、どんな場所が必要か？

グループで協力して考えて、北小を安心・安全な避難所にしていこう。

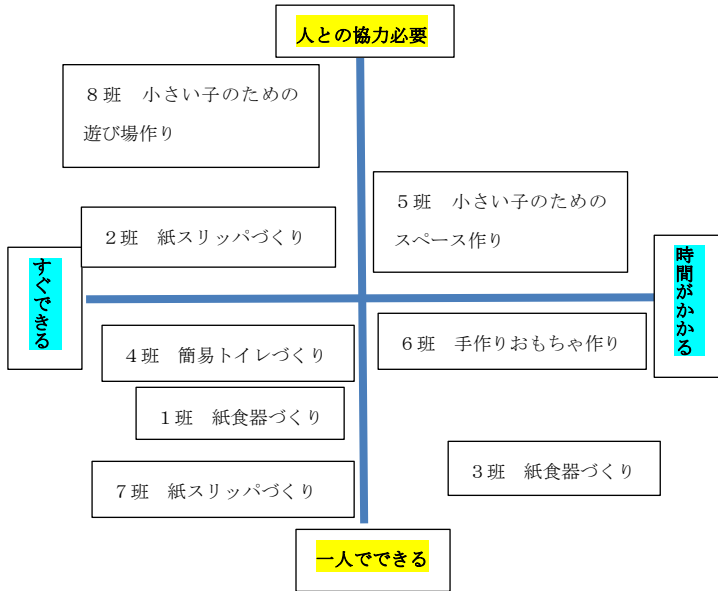
<北小避難所プロジェクト>

- ・災害状況 **9月終わりの1週間、雨が降り続いていたため、土砂災害が起きた。**
 土砂でくずれてしまった家もあり、きけんなじょうたい。
 多くの人が北小に避難してきている。

	ループリック	パフォーマンス事例
S	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の状況を想定した上で、学習してきたことを生かして、校内地図に必要な物や、場所の使い方について、具体的に言葉や絵などを使って、分かりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の避難所は寒いから、足元が冷えそうだね。足元を温めるために、図工室で紙スリッパを作って、お年寄り優先で配ったらいいと思う。 ・紙スリッパを作る時は、ポスターを作って人数を集めたらどうかな？みんなでやったら早いし、不安な気持ちも減るかもしれない。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを生かして、校内地図に必要な物や、場所の使い方について、具体的に言葉や絵などを使って、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙スリッパや、簡易トイレなど、小学生でも作れるように、作る場所や道具を用意しよう。図工室で作るようにしたら、小さい子も退屈しなくてすむかな。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内地図に必要な物や、場所の使い方について、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙スリッパを作ったから、避難所で作れるように、材料をまとめて用意しておこう。

板書計画

㊦ ひなん所で過ごす人達が、安心・安全に生活するために、自分達にできそうなことを考え、グループで一つ実せんしたいことを決めよう。



㊧ 同じ内容でも、グループによって座標軸の場所が違っていった。実際にやってみてすぐできそうなのか確かめたい。